

高知医療再生機構

Ver.3

Kochi Organization for
Medical Reformation and Renewal



 一般社団法人
高知医療再生機構

医療再生事業部

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁本庁舎4階
TEL 088-822-9910 FAX 088-855-5881

予防医学ネットワーク事業部
研究支援事業部

〒783-8505 南国市岡豊町小蓮185-1 高知大学岡豊キャンパス内
TEL 088-880-2223 FAX 088-880-2721

ホームページ <http://www.kochi-mrr.or.jp/>
E-mail info@kochi-mrr.or.jp

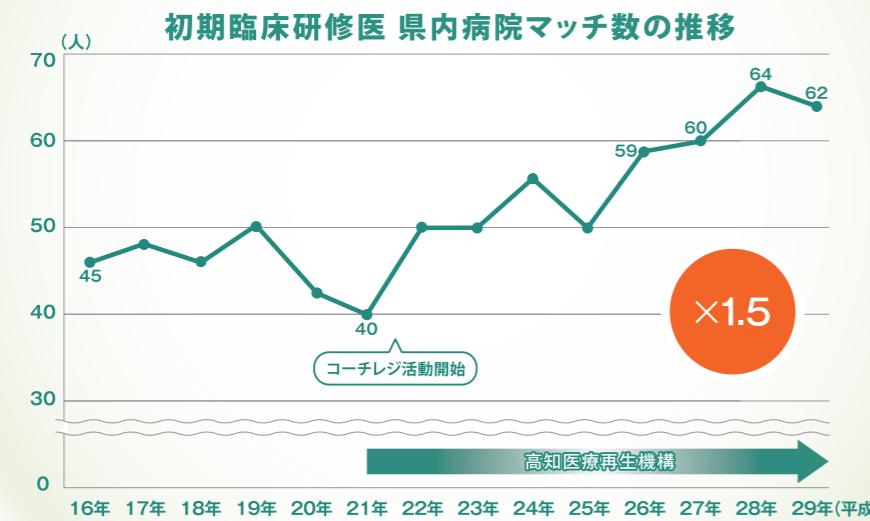


日本で一番手厚いキャリア形成 サポート県を目指して

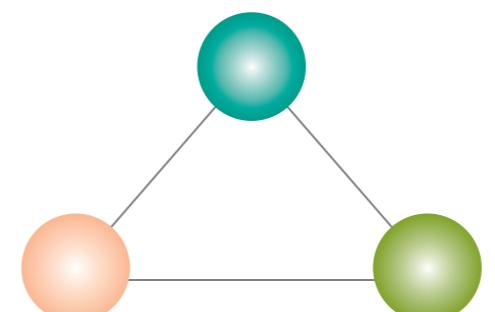


取り組みがカタチに!

初期臨床研修を始める医師数は前年秋のマッチングで決まります。高知医療再生機構の発足時に比べて、その数は1.5倍となっています。「高知県でよい人材を育てたい！」その思いが実を結び始めています。



高知県
県全体の医師確保対策について企画立案、予算確保、医師養成奨学金貸付などを行う



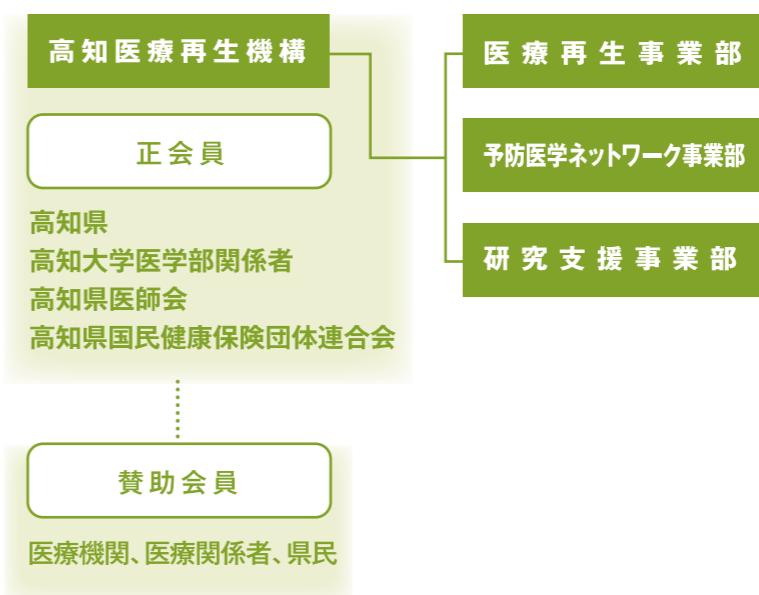
高知地域医療支援センター

地域医療機関への医師の適正配置の調整と、医師にとって魅力あるキャリア形成の体制づくりを行う

高知医療再生機構

若手医師のキャリア形成、県外からの医師の招聘および赴任の支援、高知大学、県外大学との人材交流などを行う

組織



ご挨拶
理事長 倉本 秋

肥沃な大地の医療を定常状態に

高知医療再生機構の立ち上げから7年の歳月が流れました。「人から始まる」と語り続けてきた機構の使命は徐々に形になり、おぼろげな若木は少しづつではありますが果実をつけるようになりました。若手医師の不足という医療崩壊への道程がもっとも顕著であった高知の地で、おそらく全国で一番確かな再生の槌音が聞こえ始めています。

高知県の医学生や若手医師は、医療に求められるものという原点に立ち返って、自分たちの姿、自分たちの未来を自分たちで創る「自己分泌(autocrine)」を始めています。どのようにして医療を受ける立場の人たちとともにあり、何を提供できるか、できるようになるかを考え始めています。高知県、高知医療再生機構が注いでいるものは、自己分泌の有り様ではなく自己分泌増殖因子なのです。しかし個々人が自己分泌を始めただけでは、その状態を持続できるほどの規模に達することなく時間とともに活動が衰退するのが常です。細胞(医師個々人)の連鎖反応が起きて、原子核分裂の連鎖反応が一定の割合で継続する原子炉の中のような、自己分泌の定常状態(臨界状態)が生まれる必要があります。

まだ臨界に達していない「臨界未満」のプロジェクト、堤防は、蟻の一穴、一つの油断から崩れます。果実をつけ始めた若木に水をやり、適度な陽をあてる作業を、当たり前のこととして続けていくこと、まだしばらくは高知医療再生機構が果たす役割は続きそうです。

I. 医療再生事業部

地域が一様に抱える深刻な医師不足の問題を解決し、高知県の医療の充実を図るために、医師確保と医師の資質向上に関する事業を行っています。

1 医師の招聘・斡旋

- (1) 県内の医師求人情報を提供するウェブサイト「こうち医師ウェルカムネット」の運営 ▶▶P.13
- (2) 高知で頑張る医師を紹介する「こうち医師ウェルカムネットニュース」の発行
- (3) 医師招聘・斡旋
 - ① 地域の医療機関へ機構が雇用する医師を派遣 ▶▶P.10
 - ② 医療専門職に対する無料職業紹介
 - ③ 地域の医療機関へ赴任する医師への研修修学金の貸与 ▶▶P.8,10
 - ④ 地域赴任医師をサポートする連携コーディネーターの設置 ▶▶P.10
 - ⑤ 高知の医療見学ツアーの実施
 - ⑥ 「こうちの医療RYOMA大使」を通じた情報発信 ▶▶P.13
- (4) 県内出身医師への情報発信を行う「医師ふるさとネット」の運営



コーチフェス2017

2 コーチレジの自主活動支援 ▶▶P.7

- 高知県で研修を行う医師（コーチレジ）の活動に対する側面からの支援
- (1) レジデント ケストやコーチフェス、サマーキャンプ（いずれも全国規模での医師・医学生らの勉強会）の開催支援
 - (2) セーフティスクラム
 - (3) ホームページやfacebookによる情報発信

3 女性医師の復職支援 ▶▶P.10

- (1) 出産・育児などによって仕事を離れている女性医師に対する相談窓口の設置
- (2) 復職のための情報提供や就業医療機関の調整
- (3) スタートアップ研修環境の整備

4 勤務環境の改善に取り組む 医療機関を支援 ▶▶P.9

- (1) 勤務環境の改善に関する医療機関からの相談に対応する窓口を設置
- (2) 医業経営・労務管理アドバイザーの派遣
- (3) 勤務環境の改善に関する研修会の開催

5 各種支援事業の実施

(1) 医学生の実習・研修支援 ▶▶P.5

	事業名	助成対象者
①	医学生地域医療実習支援事業	公募／全国の医学生
②	研修病院見学支援事業	公募／県外在住の医学生

(2) 臨床研修充実のための支援 ▶▶P.7

①	臨床研修医確保支援事業	高知県臨床研修連絡協議会
②	臨床研修医資質向上合同研修支援事業	公募／基幹型臨床研修病院
③	研修病院見学支援事業	公募／県外在住の研修医
④	地域医療研修者支援事業	公募／県外在住の初期臨床研修医

(3) 医師のキャリア形成支援 ▶▶P.7,8

①	後期研修医（専攻医）に対する奨励金支給事業	県内医療機関で初期研修を修了した3年目の後期研修医
②	医師留学支援事業（後期研修医特別枠）	公募／県内在住の3年目～5年目の後期研修医
③	専門医等養成支援事業	公募／指導的立場にある医師
④	専門医等資質向上支援事業	公募／概ね16年以上の臨床経験を有する医師
⑤	医師留学支援事業	公募／医師免許を取得後15年以内の医師
⑥	指導医資格取得支援事業	公募／専門医資格取得後、2年以上経過している医師
⑦	地域医療研修指導医支援事業	高知県へき地医療研修指導医連絡協議会
⑧	新専門医制度対応倫理文化醸成支援事業	高知大学医学部附属病院

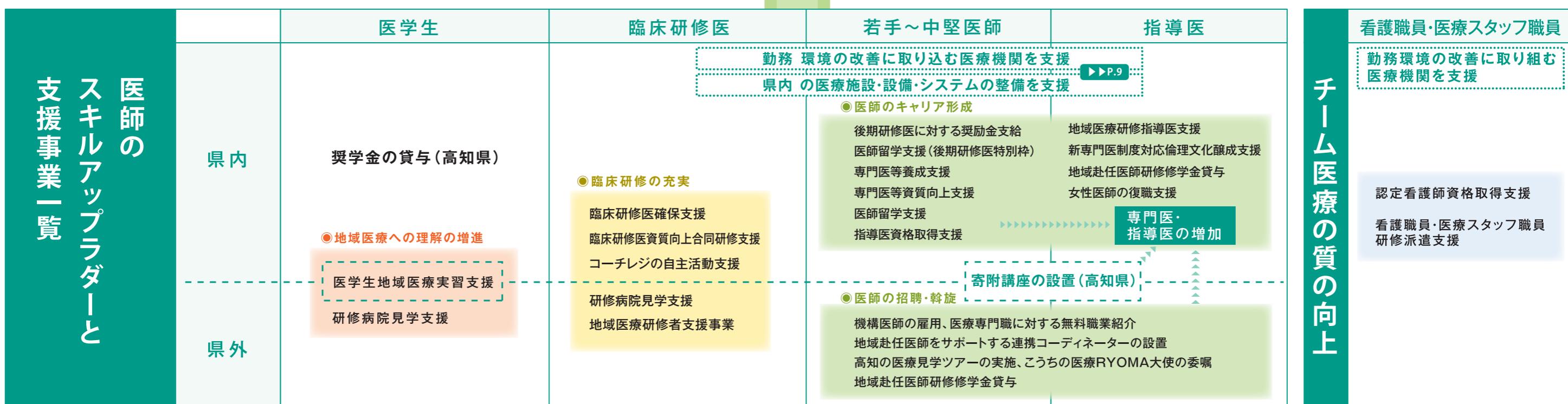
(4) 医師確保の支援 ▶▶P.8,10

①	地域赴任医師研修修学金貸与事業	地域医療の核となる県内の病院に赴任する医師
---	-----------------	-----------------------

(5) 看護職員・医療スタッフ職員の資質向上支援 ▶▶P.9

①	認定看護師資格取得支援事業	公募／医療機関等
②	看護職員・医療スタッフ職員研修派遣支援事業	公募／医療機関等

支援事業一覧 医師のスキルアップ・プラダードーと



1 地域医療にふれてみよう!

医学生地域医療実習支援事業

6万円以内

補助対象経費／交通費や高速道路の使用料、宿泊費、書籍購入費、傷害保険料等

医学生のみなさんが、地域医療を学ぶための研修や家庭医学講座等を受講するにあたり、その経費を助成しています。

○助成の対象

原則として高知県医師養成奨学貸付金を受給している県外の医学生や、高知県の地域医療に深い関心を持つ医学生

医学生地域医療実習支援事業利用
高知大学医学部医学科4年 Kさん



高知大学医学部家庭医療学講座に集う仲間3人と、自主学習として沖の島の診療所へ見学・実習を行った際の、交通費・宿泊費について助成をいただきました。沖の島は初めての訪問でしたが、住民の方々は皆さん親切に私たちに接してくださいました。沖の島診療所の先生、宿毛市の保健師さん、住民の方々のお話から、島の診療所が住民の方々の健康を守るうえで非常に重要な役割を果たしていること、医師をはじめとする診療所のスタッフの方々と住民の皆さんが厚い信頼関係で結ばれていることが分かりました。離島医療のやりがいを知ることができた今回の訪問は自分にとって本当に貴重な経験となりました。

2 高知で研修病院を見つけよう!

研修病院見学支援事業

1泊あたり | 1万円(3泊まで)

高知県内での初期臨床研修・専門医研修を考えている県外在住の医学生のみなさんに、研修病院を実際に見て、知っていただくための費用を助成しています。県内の基幹型臨床研修病院を2カ所以上見学する場合に、その経費を助成しています。

研修病院見学支援事業利用
首都圏の大学医学部6年 Kさん



高知市内の3病院の見学に際し、助成をいただきました。研修病院は、実際に見てみると雰囲気や実態がわかりません。しかし学生にとって、県外から現地に向かうには交通費や宿泊費の問題が意外と大きなものです。この事業が県外からでも見学に行く良いきっかけとなりました。まずは見に行ってみると、学生の視野も広がり、高知県内での研修も選択肢に入るのではないかでしょうか。

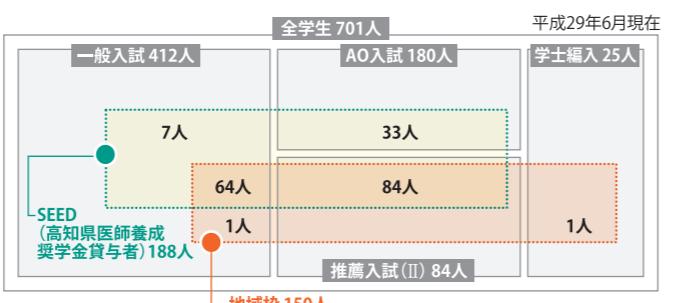
奨学金で有意義な学びを!

1 高知県医師養成奨学貸付金

高知県では、大学卒業後、県内の指定医療機関で医師として勤務する意思を有する者に対して、大学の修学期間中、月額15万円の医師養成奨学貸付金(以下、「奨学金」といいます)を貸与します。[特定診療科目(産婦人科、小児科、麻酔科、脳神経外科)の医師として勤務する意思を有する者には8万円を加算]。そして、指定医療機関における勤務期間の通算が貸与期間の1.5倍(最長9年間)に達した場合に、償還を免除します。ただし、高知市・南国市にある医療機関については、償還免除のための期間に算入できる年数に上限があります。

2 奨学金と入学試験地域枠

高知大学医学部の入学試験形態と、奨学金貸与者、地域枠との関係は右図のようになります。地域枠の学生は原則として奨学金を受給していますが、一般入試、AO入試、学士編入のみなさんも、たくさん奨学金を受けてくれています。

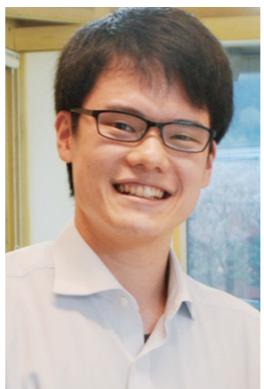


自立と自律のDIY!! 高知大学医学部生が、連携と次世代育成のために主体的に動きだしました!



SEED初代表 山本ゆい
(高知大学医学部附属病院
老年病・循環器内科勤務)

SEEDは、「今後一緒に高知県で働くことになる奨学金を受ける学生同士、在学中からつながりを作っておこう」というコンセプトで生まれた組織です。SEEDには「将来、花となる種」「高知の医療の種を咲く」「高知の医療にシード権がある」という意味が込められています。後輩たちが高知県で安心して働けるよう、私自身今後ともサポートしていきたいと思っています。



BRIDGE初代代表 黒江 崇史
(東京大学医学部附属病院勤務)

BRIDGEは、学生が主体的かつ継続的に医学教育へ関わることを目的に生まれました。学生の代が変わり、時代に即して活動内容が変わっても、教員とともに母校の教育をよりよくしていくという理念は、未永く受け継がれて行くことを願っています。

3 奨学金とキャリア形成

平成19年度に創設された医師養成奨学金制度ですが、これまで高知県は奨学金を受給して医師になる人たちのニーズを最優先させて、制度設計および制度の変更を行ってきました。そして平成30年にスタートする新しい専門医の仕組みに対応するため、平成28年に再度改定を行いました。専門医を養成する能力・機能を有する病院については、その所在地が医師不足地域にあるかどうかに関わらず、償還免除要件の対象医療機関とするものです。この改定によって、基本領域、サブスペシャリティ領域専門医を目指す、奨学金を受けた若手医師のキャリア形成支援への配慮が行き届きます。さらに、その他の支援事業によって、キャリア形成はさらに後押しされることになります。奨学金受給者、非受給者を問わず、誰もが「高知にいるからこそ」有利に資格取得ができるのです。償還免除となるための勤務年数は、初期臨床研修修了後15年のうちに終えればよいことになっています。この猶予期間を活用して留学し、国内外の先進的な医療を学ぶことも可能です。

4 奨学金償還免除のための要件

(1) 偿還免除のために必要な勤務年数

貸与期間	必要な勤務年数	初期臨床研修		専門医研修(専攻医)以降						
		1年目	2年目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1	1.5									
2	3									
3	4.5		0.5年							
4	6		1年							
5	7.5		1.5年							
6	9		2年							

算入可能な年数
償還免除のために必要な年数
うち、高知市・南国市勤務の上限(通算)

※貸与年数が1年あるいは2年の場合は、初期臨床研修期間は償還免除のための勤務には算入できません。

※貸与年数が3年以上の場合、初期臨床研修中の償還免除のための勤務に算入できる期間はそれ異なります。

※「算入可能な初期臨床研修期間」と「専門医研修開始以後の勤務期間」とで必要な年数をクリアすることが必要です。

※貸与年数に応じて、償還免除に必要な年数に算入できる、高知市・南国市の病院の勤務期間には上限があります。

(2) 偿還免除のための勤務と認められる医療機関

医師不足地域(高知市・南国市以外)にある医療機関
勤務期間はすべて償還免除に 必要な年数に算入できます
公立(に準ずると認められる)の病院及び診療所 あき総合病院、幡多けんみん病院、嶺北中央病院、高北病院、椿原病院、四万十市民病院、へき地診療所
許可病床数が100床以上あり、 そのうち一般病床が60%以上の医療機関 須崎くろしお病院、くぼかわ病院 ほか

新 日本専門医機構認定プログラムに参加する医療機関
(各学会認定プログラムに参加する医療機関)
田野病院、野市中央病院、渭南病院 ほか

高知市・南国市にある医療機関

高知市・南国市にある医療機関
償還免除に必要な年数に 算入できる勤務期間には上限があります

新 日本専門医機構認定プログラムに参加する医療機関
(各学会認定プログラムに参加する医療機関)
高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、近森病院、細木病院 ほか

※産婦人科の医師として、分娩を取り扱う医療機関に勤務する場合は上限はありません(すべて要件期間に算入できます)

5 奨学金の貸付を受けた若手医師の勤務先は、いま?

平成29年4月末現在

初期臨床研修中(50人)	要件期間内(26人)	要件期間満了(5人)
県内の臨床研修病院 高知大学医学部附属病院 国立病院機構高知病院 県立あき総合病院 県立幡多けんみん病院 高知医療センター 高知赤十字病院 近森病院 細木病院	高知大学医学部附属病院 県立あき総合病院 県立幡多けんみん病院など	県内医療機関

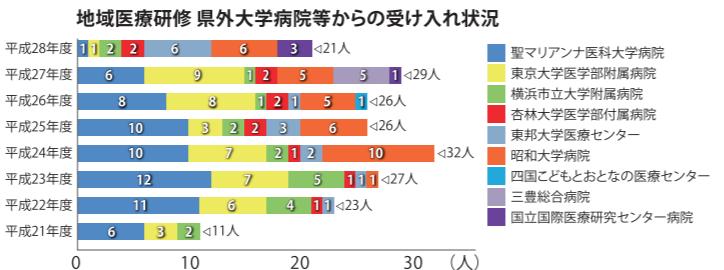
**専門医の取得・更新と高知の医療への思いを
両立させて頑張っています**

1 高知県での地域医療研修参加を応援します!

地域医療研修者支援事業

6万円以内

県外在住の初期臨床研修医のみなさんが、高知県内で地域医療研修に参加するための費用を助成しています。都会の研修医のみさんに、保健・福祉・介護と一体となった地域医療をきちんと学んでもらうことが主眼ですが、できれば将来、「見たことのある地域」の医療に少しでも貢献してもらうきっかけになればと考えています。



2 高知県での研修病院探しをお手伝いします!

研修病院見学支援事業

1泊あたり | 1万円(3泊まで)

高知県内での専門医研修(後期研修・レジデント研修)を考えている、県外在住の初期臨床研修医のみなさんに、県内の後期研修病院を知りたいための費用を補助しています。2カ所以上見学する場合に、必要となる宿泊費を助成します。

3 県内の臨床研修をサポートします!

基幹型臨床研修病院と高知県が協力して「高知県臨床研修連絡協議会」を組織し、臨床研修医の確保や研修内容の充実を図るためにさまざまな取り組みを行っています。当機構は、この活動に必要な経費を助成しています。

臨床研修医確保支援事業

レベルの高い、魅力的な研修ができる高知県として、日本全国から研修希望者が集まっているよう、高知県臨床研修連絡協議会は以下の取り組みを行っています。

- (1) 研修指導医養成のためのワークショップの開催
- (2) 県外臨床研修合同セミナー(レジナビフェア、eレジフェア等)への参加
- (3) 県内臨床研修病院合同説明会の開催
- (4) 医学生・研修医に向けての情報発信
- (5) 初期臨床研修医の共通オリエンテーションBLSコース・ICLSコースの開催支援
- (6) 研修医が企画する事業への支援

4 研修医の勉強会を支援します!

臨床研修医資質向上合同研修支援事業

1回 | 16万7千円

基幹型臨床研修病院が、研修医のために行う合同研修会等の開催経費を助成するとともに、研修医の自主的活動の支援を行っています。

5 専門医取得に向けた研修も高知県内で!

後期研修医(専攻医)に対する奨励金支給事業

一人 | 30万円

※自治医科大学医学課程修了者で、勤務義務期間内の医師は対象となりません

県内の基幹型臨床研修病院で初期臨床研修を修了し、引き続き県内の医療機関で3年目の専門医研修を行う医師に、診療の傍ら自主的な研究・研修等を行うために要する奨励金を支給しています。

6 留学して学びたい後期研修医(専攻医)を応援します!

留学支援事業【後期研修医特別枠】

一人 | 50万円

医師のキャリア形成を応援する医師留学支援事業に、3年目～5年目の後期研修医(専攻医)対象の特別枠を設け、国内外の先進的な医療機関で研修をする際の費用を助成しています。

7 研修医のメンタルヘルスを大切に考えています!

研修医の一番近くにいるのは研修医。「隣にいる研修医の心の変化に研修医が気付きたく」、そんな研修医の思いの結集が、研修医による「セーフティスクラム(Safety Scrum)」です。セーフティスクラムによるメンタルヘルスに関する防御力を向上するための講習会の開催や、研修のストレスを回避するための研修医間の情報共有、先輩若手医師によるピアサポート活動の応援をしています。



1 医師のキャリア形成を応援します!

(1)指導医の資格を目指す人へ! 指導医資格取得支援事業

専門医資格取得後、2年以上経過の医師 | 80万円以内(2年まで)

高知県で若手医師の指導・教育にあたる医師を増やし、指導体制の充実を図ることを目的としています。指導医資格取得を目指すための勉強や学会参加、論文を作成するための経費を助成しています。

●実績:この事業により指導医資格取得に至った医師の数 53人(平成29年8月末現在)

(2)新たな専門医の資格取得を目指す人へ!

中堅医師が新たな分野(消化器内視鏡、心身医療、透析、漢方等)に挑戦する際に、専門医等の資格を取得するための活動経費を助成しています。

●実績:この事業により資格取得に至った医師の数

指導医資格取得者11人、専門医資格取得26人、認定医資格取得13人
実施医資格取得8人、治療医資格取得1人、スポーツ医資格取得1人
管理医1人、サポート医1人(平成29年8月末現在)

(3)留学して学びたい人へ! 医師留学支援事業

医師免許の取得後15年以内の医師 | 300万円

県内の若手医師が、資質向上またはキャリア形成のために国内外の先進的な医療機関で研修をする際、その費用を助成しています。

●実績:この事業を利用して留学した医師の数

海外9人、国内26人(平成29年8月末現在)

専門医等資質向上支援事業

概ね16年以上の臨床経験を持つ医師 | 50万円以内(2年まで)

医師留学支援事業 利用

高知大学医学部附属病院 泉 仁 医師

平成24年9月からの1年1ヶ月の間、「医師留学支援事業」を利用しデンマークのオールボー大学に研究留学をしました。高知大学からの給与ゼロの状況で消費税25%、ビッグマックセット1,200円の国で生活するのは、金銭的にかなり不安でしたが、この事業のおかげで一文無しにならずに済みました。途中からは家族(妻と3歳の息子と3ヶ月の娘)も合流しましたが、支援金は家族の旅費や居候費にも活用することができとても助かりました。世界中から集まつた多くの仲間と共に研究やプライベートを満喫することができたこと、異国の地で家族みんなで力をあわせて生活したことはかけがえのない経験です。今後多くの方が本支援事業を利用され、世界に羽ばたかれることを期待しています。

専門医等養成支援事業 利用

高知医療センター 救命救急センター長 西田 武司 医師

当施設では、救急医育成のために本事業を活用しており、若い先生方には救急関連の学会出張や国内留学、各種研修会、講習会(ICLS・JATEC・JPTECなど)への参加費や旅費、書籍・文献購入、論文投稿にかかる費用などの専門医取得に必要な費用に「専門医等養成支援事業」を利用させていただいております。このような事業は高知県に来るまで全くませんでした。事実、他の都道府県ではほぼ行われていません。高知県はその地理的条件から全国的な学会開催地や各種研修会・講習会への会場までの移動にかかる費用に関して他の県より負担が多い傾向です。しかしこの支援によりそれらの負担から解放され、日々の臨床に集中して臨むことができ、さらに症例は県内各地から集まるため、症例数も症例の偏りも少なく豊富な臨床経験を積むことが可能となっています。大都会とは距離が離れていますが、それゆえ高知県内で可能な限りすべての医療を完結させるべく一致協力して対応している、この恵まれた環境で皆と充実した救急研修・救急修練を行ってみませんか?

※所属と役職は利用時のもの

2 若手医師の指導・育成をサポートします!

(1)地域医療研修の充実を! 地域医療研修指導医支援事業

高知県へき地医療研修指導医連絡協議会 | 120万円/1年

地域医療研修の指導を行う医師たちで構成する「高知県へき地医療研修指導医連絡協議会」が、研修指導医のレベルアップや指導医間の情報交換を行うために実施する事業の経費を助成しています。

(2)専門医を育てる! 専門医等養成支援事業

指導的立場にある医師 | 500万円以内/1年

指導医が、若手医師の専門医資格取得を支援するための勉強会やセミナーの開催、学会参加等の研修環境を整える経費を助成しています。

●実績:この事業により資格取得に至った医師の数

専門医資格取得者223人、指導医資格取得者28人
認定医資格取得者78人、実施医資格取得者14人、指定医資格取得者6人
専修医資格取得者1人、リハビリテーション医2人、専門研修施設認定 1 施設(平成29年8月末現在)

3 地域への赴任を支援します!

地域赴任医師研修修学金貸与事業

地域の医療機関への赴任 | 50万円

高知市内・南国市内の医師が、地域医療の核となる地域の病院へ赴任する場合に、研修修学金を貸与しています。1年間以上の勤務により、償還が免除されます。

※自治医科大学医学課程修了者または高知県医師養成奨学貸付金等の受給者で、勤務義務期間内の者は対象となりません
後期研修医に対する奨励金の支給を受けている場合は金額が減額されます

4 医療倫理の教育・研修体制を充実します!

新専門医制度対応倫理文化醸成支援事業

高知大学医学部附属病院 | 100万円/1年

新しい専門医の仕組みでは医療倫理の教育・研修制度の充実が専門医資格取得・更新の要件となっています。医療倫理研修に必要な経費を助成し、高知県全体の医療倫理のレベルアップに努めています。

補助事業の対象となる経費は各支援事業によって異なっています。詳しくはホームページをご覧ください。

指導医資格取得・専門医等資質向上・専門医等養成支援事業

学会参加費、出張旅費、書籍・文献購入、英文校閲料など

医師留学支援事業

住居費、現地までの交通費、受講料、図書購入費など

1 医師確保・招聘活動をサポートします!

「こうち医師ウェルカムネット」を運営し、高知県内で求人を行っている医療機関の情報を公開しています。▶P.13

2 看護職員・医療スタッフの資質向上を支援します!

(1) 認定看護師資格取得支援事業

看護師が、認定看護師の資格を取得するために必要な研修参加費、滞在費、交通費などを助成しています。

◎実績:この事業により認定看護師資格取得に至った看護師の数 54人(平成29年8月末現在)

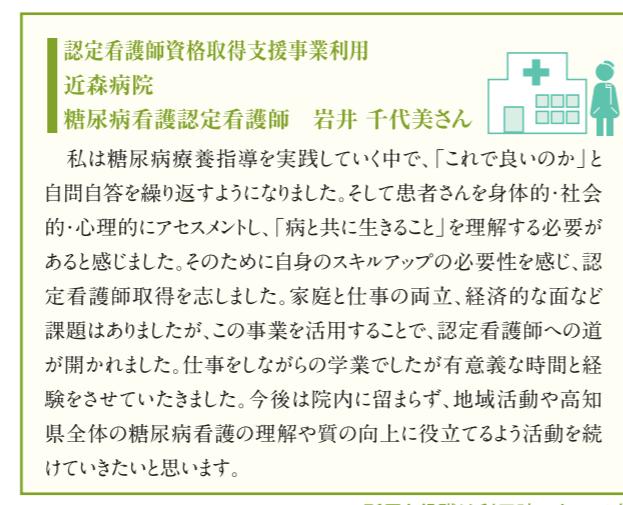
(2) 看護職員・医療スタッフ職員研修派遣支援事業

安全で質の高い医療を提供する体制を整えるため、看護師や多職種が先進的な医療機関で研修するための費用を助成しています。

3 勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援します!

高知県と高知労働局からの委託を受け、「高知県医療勤務環境改善支援センター」として、勤務環境改善に関する相談窓口を設置するとともに、相談のあった医療機関に医業経営や労務管理のアドバイザーを派遣する等の活動を行っています。

また、医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する研修会の開催や、勤務環境改善に役立つ情報の提供なども行っています。



これまでの取り組み

県内の医療施設・設備・システムの整備を支援しました!

1 安芸保健医療圏における連携体制

県東部、安芸保健医療圏での医療連携をスムーズに行うための体制を構築し、病院GPの育成拠点の整備を支援しました。

安芸保健医療圏地域医療ネットワーク事業

2 レジデントハウス 南風(みなかぜ)

高知県内の研修医等に対し、医学に関するシミュレーション教育を行う施設、また県外からの研修医を受け入れるための宿泊棟の建築・整備を支援しました。



3 高知県立あき総合病院

病院GPのキャリア形成拠点となる高知県立あき総合病院の建設費を助成しました。



4 高知県立あき総合病院 医師公舎

高知県立あき総合病院 医師公舎の建設費を助成しました。



5 高知県立あき総合病院 高度医療機器

高知県立あき総合病院の高度医療機器整備を助成しました。



医療専門職のために「高知で輝く」

無料職業紹介と就労支援

高知県で働いてみようとお考えの医師をはじめとする医療専門職のみなさんに、県内の医療機関を紹介しています。高知のために尽力いただける方々に来ていただけるよう、手厚いバックアップ体制を整えています。公的機関による信頼できる情報提供・紹介です。登録料・紹介手数料などはいただきません。

1 医師の希望に沿って個別にプランを提案し、医療機関への斡旋や当機構での雇用を行っています!

機構医師派遣事業

斡旋・雇用どちらの場合も医療機関との調整などは当機構が行いますので、慣れない土地でも雑事に煩わされることがなく快適に過ごしていただけます。

2 オーダーメイドの高知の医療見学ツアーを行っています!

高知県内の就職をお考えの医師が、ご希望の医療機関を複数見学することができる見学ツアーを実施しています。ご希望の方は高知医療再生機構までお問い合わせください。

【医療見学ツアーの流れ】

- ①高知医療再生機構への問い合わせ
- ②当機構の職員が面談に赴き、詳細なヒアリングと打ち合わせ
- ③当機構が希望に合った医療機関をリストアップ
- ④提示リストの中から見学する医療機関を選択
- ⑤医療機関と調整し、見学ツアーの行程を作成
- ⑥機構職員が同行し、ツアーを実施

就職後もさまざまな相談に応じます

【医療見学ツアー例】

1日目	10:30	高知龍馬空港着	▶	13:00	A病院見学	▶	16:00	B病院見学	▶	18:00	市内ホテル宿泊
面接者・事務長				面接者・院長			面接者・院長				
2日目	9:00	市内ホテル出発	▶	12:00	C病院見学	▶	16:00	高知龍馬空港着	▶		面接者・院長

3 コーディネーターがサポートします!

連携コーディネーターの設置

地域へ赴任する医師に対し、相談窓口となるコーディネーターを配備し、赴任のための準備や医療機関との交渉などを円滑に進めます。赴任後も定期的にコンタクトをとり、課題があれば解決に努めます。

4 地域赴任医師には修学金を貸与します!

地域赴任医師研修修学金貸与事業

県外の医療機関から、高知市内・南国市内の医療機関または地域医療の核となる医療機関へ赴任する医師に対して、研修修学金を貸与しています。

高知市・南国市への赴任 | 50万円

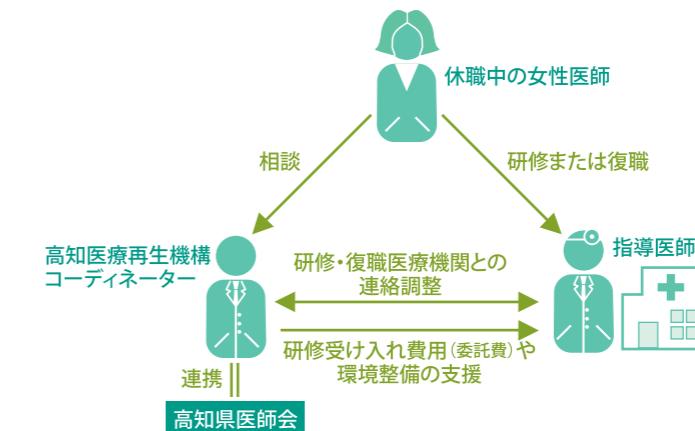
1年間以上の勤務により、償還が免除されます。

地域の医療機関への赴任 | 120万円

5 産休・育休後の働く場を確保します!

女性医師の復職支援事業

出産・育児などによって一時的に仕事を離れていた女性医師に対し、復職の相談窓口を設け、コーディネーターが働きやすい医療機関に関する情報収集を行ってご本人に提供します。また、復職に向けての研修ができるよう各医療機関と調整を行い、研修環境の整備(スタートアップ研修)を支援します。



JOYサポネット

高知県女性医師復職応援サイト
<http://joysaponet.kochi-mrr.or.jp/>

6 キャリアアップを支援します!

(P.8「医師のために」参照)

高知医療再生機構は、高知で働くすべての医師に対して、学会への参加など、さまざまなキャリアアップ支援を行っています。「高知にいても」ではなく、「高知にいるからこそキャリアアップができる」ような支援を目指しています。

高知医療再生機構のルーツは、高知大学発のベンチャー企業「高知予防医学ネットワーク」(平成17年3月設立)です。予防医学ネットワーク事業部と研究支援事業部は、高知予防医学ネットワークの志と事業を引き継いでいます。

II. 予防医学ネットワーク事業部

新しい医療・保健サービスのあり方を研究するとともに、健康的でよりよい食生活・生活習慣を実現するための情報解析や相談を行っています。

1 医療・保健情報の集計・解析

データに基づいた医療・保健活動をサポートするため、地域医療活動や特定健診・特定保健指導などの集計や解析を行い、状況の理解を助ける資料を提供しています。

2 地域医療コラボレーションシステムの開発

高知県救急医療情報連携システム (ICTによる地方型救急医療支援)

高知県の救急医療の充実を図るために、搬送時の情報連携を支援するシステムを、国立情報学研究所の協力を得て開発しました。救急現場の画像や正確な患者情報が救急医療機関に伝送され、より適切な救急処置が可能になります。電波の不感知地域があっても通信可能な、地方対応の工夫が凝らされています。併せて、情報連携を行うための人材として、「CS(コミュニケーションスペシャリスト)」の育成事業を行いました。

救急隊および医療現場の声を取り入れ、システムの開発・構築を行ったもので、地方の実態に即した医療情報連携となっており、本システムは MCPC award 2012 特別賞を受賞しました。 <http://www.mcpc-jp.org/award2012/>



この画像伝送システムは、平成27年度から高知県が運用する救急医療情報システム(傷病者情報共有・搬送先選定)の中に発展・応用されています。当機構は関連機器の保守点検を行なっています。

3 読影システムの運用

画像診断医が不足する地域をサポートするため、遠隔画像診断システムを活用して地域の画像診断を支援しています。

4 看護ニーズへの対応

(1)スタッキングカート

看護師の多い日勤帯はPCを載せて病室で活躍、人も仕事も少なくなった夜勤帯はコンパクトに収納されます。高知大学医学部附属病院看護部、泉株式会社と共同開発。

※泉株式会社から販売しています



●省スペースで収納可
●押し込みだけで簡単にスタッキング

(2)点滴スタンド

医療用車椅子の後方に、簡単に連結できる点滴スタンドです。車椅子での移動が安全、快適、便利に行えます。高知大学医学部附属病院看護部、泉株式会社と共同開発。

※泉株式会社から販売しています



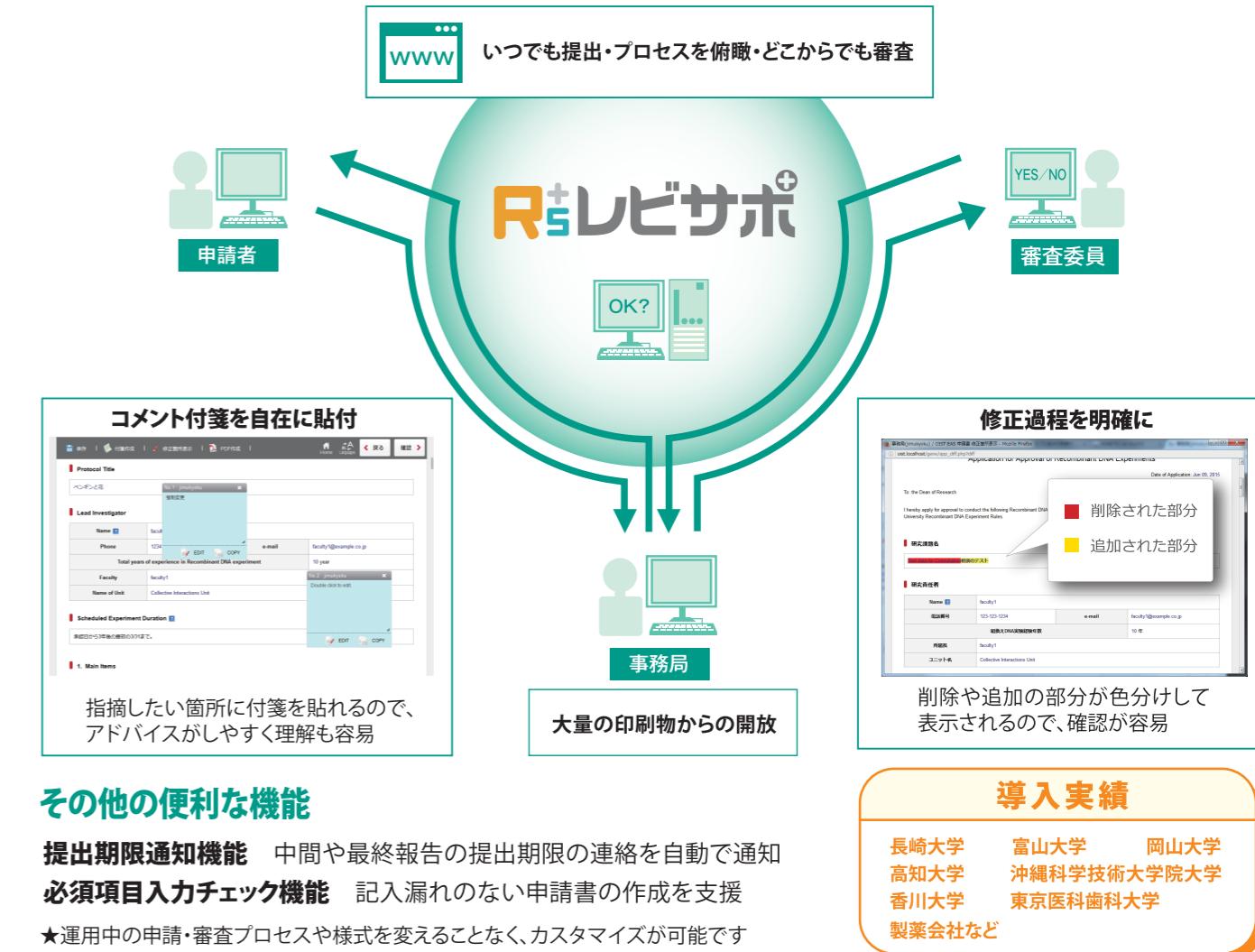
III. 研究支援事業部

医療・医学研究を円滑に進めるため、システム開発を通じた研究支援を行っています。

1 認証型web申請・審査システム(レビサポ)

倫理審査、動物実験審査、遺伝子組換え実験審査といった、医療・医学研究に欠かせない申請や承認審査について、簡潔な手続きや安全な情報管理を実現するためのwebシステムを提供しています。

◎WEB申請・審査システムイメージ



その他の便利な機能

提出期限通知機能 中間や最終報告の提出期限の連絡を自動で通知

必須項目入力チェック機能 記入漏れのない申請書の作成を支援

★運用中の申請・審査プロセスや様式を変えることなく、カスタマイズが可能です

これまでの取り組み

予防医学ネットワーク事業部・研究支援事業部

1 栄養・保健指導技術の向上に関する研究事業

健診や栄養管理・指導情報の管理・解析手法の開発を通じた、地域栄養ケアサービスシステムの構築や指導システムの開発をしました。

2 市町村での栄養相談

さまざまなライフステージの方々の、健康的でよりよい食生活の実現を支援するため、予防医学の観点から、乳幼児健診における栄養相談、離乳食教室、疾患別の栄養相談や特定保健指導の講習などを行いました。

3 地域ICT利活用による医療連携ネットワーク構築事業〔幡多事業〕

高齢先進地の高知において、医療と介護の情報連携を実現し、それぞれの高齢者にとってふさわしい居場所の選定の支援手法とともに、医療・介護従事者の育成やスキルアップの新しい枠組みを提案しました。

4 高齢者の健康的な生活支援に関する研究事業 (退院支援ソフト)

高齢者の生活状況等の情報に基づく、退院後の「ふさわしい居場所」の決定を支援するシステムを開発しました。

5 人文社会学系学部のための認証型Web申請・審査システムの開発

国立情報学研究所(曾根原研究室)が開発する「人文社会学系の研究のための倫理審査システム」の研究実用化をサポートしました(平成28年度)。

本システムは、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 データサイエンス事業・社会データ構造化センターが研究開発する、社会調査データ・公的統計データ・ソーシャル・ビッグデータを連携・管理する「人間・社会データ管理におけるデータ・コンプライアンス基盤」として実証実験を実施し、データサイエンス基盤として活用される予定です。

高知の医療現場に関する情報を提供しています!

1 「こうち医師ウェルカムネット」で検索できます



高知県内で求人を行っている医療機関の情報を公開しています。
診療科目、医療圈や所在地、勤務形態などの項目で情報を検索することもできます。
情報は随時更新しており、50医療機関の情報を見ることができます。(平成29年9月現在)

こうち医師ウェルカムネット
http://www.kochi-mrr.or.jp/~ishi_welcome_net/

2 「こうち医師ウェルカムネットニュース」を発行しています

地域の医療機関で活躍するIターン・Uターンの医師、診療応援の県外医師などにスポットをあて、インタビューを行っています。高知の住み心地や地域医療について、熱く語っていただいている。



3 全国各地に「こうちの医療RYOMA大使」

県外で活躍する、高知県ゆかりの著名な医療関係者の方々に高知県が「こうちの医療RYOMA大使」を委嘱し、高知県の取り組みなどの情報を提供・発信していただいている。

◎「こうちの医療RYOMA大使」の人数 21人(平成29年9月現在)

4 「医師ふるさとネット」で高知の情報を届けています

高知県出身の医師に、定期的に高知県の取り組みについて情報発信を行っています。
情報提供をご希望の方は、高知医療再生機構までご連絡ください。

5 こちらも併せてご覧ください

高知県(高知家) (医師確保・育成支援課)	http://www.kochike.pref.kochi.lg.jp/~top/ http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/132501/
高知県臨床研修連絡協議会	http://www.kochi-mrr.or.jp/~rinsyou_kensyu_kyougikai/
高知県医療勤務環境改善支援センター	https://www.kochi-mrr.or.jp/kinmukankyoukaizen/
高知諸診医会	facebook「高知諸診医会」
高知県女性医師復職応援サイト (JOYサポネット)	http://joysaponet.kochi-mrr.or.jp/
高知地域医療支援センター	http://www.cmsc-kochi.jp/



高知家の家族になつていただける
医師を募集しています

名 称	一般社団法人 高知医療再生機構
所在地	〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁本庁舎4階
設 立	平成22年2月
役 員	理 事 長 1名 副 理 事 長 1名 専 務 理 事 1名 理 事 6名 監 事 1名
沿革等	平成17年3月 高知大学に有限責任中間法人「高知予防医学ネットワーク」が発足 平成21年6月 法人化制度の見直しを受け一般社団法人に移行 平成22年2月 名称を「高知医療再生機構」に改称 高知県が事業運営に参画 4月 医療再生事業部を高知県庁本庁舎内に設置、予防医学ネットワーク事業部・研究支援事業部は高知大学岡豊キャンパス内で活動を継続 平成24年4月 予防医学ネットワーク事業部の「高知県救急医療情報連携システム」がMCPC award 2012 特別賞を受賞 平成28年3月 高知医療再生機構の5年間の活動を振り返る活動報告会を開催

賛助会員を 募集しています

高知医療再生機構では、当機構の趣旨・活動にご賛同いただき、ご協力いただける賛助会員を募集しています。高知県の医療環境を充実させ、より多くの医師に高知県の病院を選んでもらう活動に、ぜひともお力添えをいただけますようお願い申し上げます。



賛助会費

- 個人 一口当たり年額 5千円として一口以上
- 団体 一口当たり年額 3万円として一口以上

入会につきましては、当機構医療再生事業部まで
お問い合わせください。